

## Lactobacillus crispatus KT-11 株による

### 腸管を介した皮膚に及ぼす影響

-第 26 回日本抗加齢医学会総会にて発表-

株式会社キティーは九州大学大学院 農学研究院との共同研究にて、*Lactobacillus crispatus* KT-11 株を処理した腸管由来エクソソームの皮膚細胞において長寿遺伝子を発現させる作用および老齢マウスへの KT-11 株の経口摂取による皮膚機能に関する影響について調査を行いました。

この研究成果について、6 月 26 日より行われる第 26 回日本抗加齢医学会総会にて発表を行います。

#### 【研究概要】

*Lactobacillus crispatus* KT-11 株（以下、KT-11 株とする）は、健康な乳幼児から分離された乳酸菌です。本研究では、KT-11 株で処理した腸管由来のエクソソームの皮膚細胞における機能性の検証および老齢マウスへの KT-11 株の経口摂取による皮膚機能に関する影響を確認する目的で研究を行いました。

まず、腸管と皮膚との相互作用を担う因子としてエクソソームを想定して、KT-11 株を添加したヒト結腸癌由来細胞からエクソソームを単離し、ヒト表皮角化細胞に添加し培養後、リアルタイム PCR を用いて長寿遺伝子などに対する効果を検証しました。その結果、上記エクソソームの添加により、ヒト表皮角化細胞における長寿遺伝子や皮膚機能に関与する遺伝子の発現を増強しました。KT-11 株で処理した腸管由来のエクソソームが皮膚細胞機能を活性化することが明らかとなり、腸管と皮膚との相互作用を担う因子としてエクソソームの関与が示唆されました。次に、C57BL/6 系のマウスを、①非摂取群(若齢)、②非摂取群(老齢)、③KT-11 株摂取群(老齢)に分け、KT-11 株の 56 日間摂取試験を実施し、H&E 染色により皮膚の厚さを評価しました。その結果、KT-11 株摂取群では非摂取群(老齢)に対して、表皮および真皮の肥厚の減少が抑制されていることが確認できました。以上の結果から、KT-11 株は生体への経口摂取において、自然老化による皮膚の老化を抑制する機能を有する可能性が示唆されました。

#### 【発表者情報】

発表日時：2026 年 6 月 27 日(土) 11:30~12:30 (ポスター発表)

演題：*Lactobacillus crispatus* KT-11 株による腸管を介した皮膚に及ぼす影響

発表者：○ 村木夏萌<sup>1</sup>、大木妙子<sup>2</sup>、渡邊 樹<sup>2</sup>、片倉喜範<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>九大院生資環、<sup>2</sup>株式会社キティー、<sup>3</sup>九大院農院

<第 26 回日本抗加齢医学会総会> <https://www.c-linkage.co.jp/jaam2026/contents/outline.html>

主催：一般社団法人日本抗加齢医学会 (<https://www.anti-aging.gr.jp/>)

パシフィコ横浜ノース 2026 年 6 月 26 日(金)~27 日(土)